

「de mano(で まあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つながり肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まあの から  
**de mano**  
エスペラント語で「mano」は「手」、  
「de」は「～から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】

兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6

☎ 06-6495-2546

☎ 06-6495-2900

✉ mano0298@snow.plala.or.jp

## 「廃業」でなく、「承継」を目指す

### 一まあのの今後について一

まあのはおかげさまで、1993 年創業以来、32 年、法人化後 20 期を迎えました。中小企業が存在しにくい社会の大きな変化の中でその存在を示しているのは、支持し続けて下さる流通・消費者の皆さんのおかげです。私も充実した人生を過ごしてきました。心から感謝します。

さてこの間いつも口癖のように言っている、まあの「安定した“右肩下がり”の成長」の結果、そろそろ事業として継続していくのも厳しい環境になりつつあります。私たち夫婦も年齢を重ねてきました。このような事態での判断基準として、以下の 3 点があると思います。

#### ① 月 1 頭の牛が消化できない

消費が減ったことで牛肉の動きも鈍り、1 ヶ月で 1 頭の消化が難しくなってきました。ご存じのように牛豚とも“一頭買い”ですから、毎回 1 頭分のパーツが届きます。牛の場合真空パック冷蔵で賞味期限は 40 日です。肉屋としては、牛肉の品質維持のためにも 1 ヶ月以内に消化していきたいわけです。

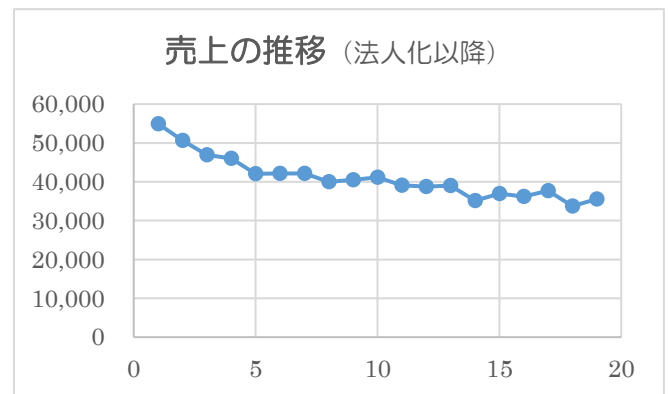
#### ② 小村夫婦の体力などの低下

小村幸治は現在 74 歳、目や歯などの定期点検、鍼灸通いなどありますが、元気に動いています。小村幸子は 71 歳、9 年前に人工股関節を入れたように腰に負担がかけられません。お肉の仕事は手作業主体といっても結構力仕事があります。今は幸治が主にスライサーを使うなどの製造を担当し、幸子はパックの梱包・冷凍庫入れ、発送・在庫管理など製造関連の仕事以外に経理も引き受けています。幸子からはたびたび、力仕事の負担軽減・計画的引退(ソフトラディング)の提案があります。

#### ③ 値上げしないとやっていけないほどの経営悪化

これも前から公言していますが、「今度値上げせな

あかんねんやったら、まあのやめます」と大言壮語したのが 2019 年 10 月でした。それまでもアルブス牛は何度も値上げしてきましたが、飼料代などの高騰で最後の値上げをお願いしました。以降コロナ禍を経て、ここ数年あらゆる物価の値上げラッシュが続いています。まあのもだんだん厳しくなっています。



(横軸、事業年度 縦軸、売上千円単位)

最近耳にした「事業承継」。例えば左下のような成

NEWS WEB 新着 天気 動画 ニュースジャンル

このうち熊本市中央区で精肉店を経営していた木村真次さん(61)は、10年あまりにわたって営業を続けてきましたが、手首のけんしょう炎などが悪化し後継者を探していました。

去年、商工会などの紹介で出会ったのが当時、県内の精肉会社に勤務し、独立を検討していた小林親功さん(46)と麻耶さん(45)の夫婦でした。

そして木村さんと小林さんの間で店のあり方についての考えが一致したことから事業承継が成立し、去年9月に新たな店がオープンしました。

木村さんは、「事業承継については、高齢化などで困ってる人はいっぱいいる。そういう人の間に立って紹介してもらえるシステムはありがたい」と話していました。

功例もありました。

個人事業主・中小企業の事業承継をサポートする制度で、ここ尼崎でも市や商工会議所、信用金庫などがタッグを組んで「尼崎市事業承継プラットフォーム」として活動しています。商工会議所で毎月開かれている無料相談に行ってみました。

通された広い会議室の真ん中にテ

ープル・イスが数脚。そこに私たち夫婦と中小企業診断士、商工会議所の職員の4人だけです。今回は1回目のヒアリングとして、予定の1時間を超えて、私たちの話をじっくり聞いてくれました。何しろもらったパンフのタイトルが「承継に10年かかるってホント？」ですから、慎重にお見合いを進めていく姿勢です。

渡世人(?)として生きてきた私にとって、ネクタイを締める社会とは接触を避けてきましたので、こちらを紹介するのも難しい。まあのの独自性は生産者との密なつながり、一頭買い、生産保証価格での仕入(日本一高いF1)、そのつながりを評価して、買い続けてくれる流通・消費者グループです。これをどう伝えられるかに苦心しました。

### 希望農場 1月農場たより 清野 光弘

皆さまは、新年いかがお過ごしでしょうか。

今年の厚真町は、雪が少ないです。年末、年始とかかなりの量の雪が降ると天気予報では伝えられていましたが、ほとんど雪が降らず年が明けても雪は降りません。いつもは農場、家の周りには雪かきをした雪でいっぱいなのですが、今年はその雪山がありません。しかし北海道は広いです。道北、特に岩見沢市では、例年の2倍の積雪で高くなった雪山は、人の背の高さの2倍にまでなっています。ただ、これからどれくらいの雪が降るのが心配です。皆様のところはいかがでしょうか？

放牧豚たちは、いつものように元気に農場内を走っています。それでも朝晩はマイナスの気温で農場も凍ってしまいます。そんな農場を走るので凍った地面で転んでしまう豚もおります。でも豚は寒さには強いので大丈夫です。

いつもの話になりますが、農場の中には吹き抜けのテントがあり、その中にバイオベッド(おがくずに菌を混ぜて表面が25℃くらいまで暖かくなります)があり寒い夜はその上で寝ています。

皆さんはどんな年明けを迎えられましたか。私たちは今年も美味しいお肉を皆様にお届けできるよう頑張ります。皆さまもお身体には十分気をつけてください。そして、良い年になるよう願うばかりです。



## 山の記録

### 摩耶山(神戸市)

2月5日

今まで10回以上は登っているでしょう。久しぶりです。新神戸駅からすぐ登山道です。ヤマレコにコースマップを入れていたのですが、この辺りはいろんなコースが錯綜していて把握できないようで、役に立ちません。散々迷わされて遠回りしてしまいました。桜茶屋でやっと天狗道に入りコースが決まりました。実はこの冬一番の寒波で雪を期待して、家を出る時からスパッツを付けていたのですが見事に外れでした。何人もの方に会います。下りの人はすでに頂上まで行っているのでしょうか。登りの人に抜かされました。私と年齢の近い女性ですが、駆けあがって行きます。「超特急ですね」「いえいえ」。雪は少なくとも寒さは厳しい。特に北風が当たる場所では、手も凍ります。稲妻坂が岩場で足に堪えるのは覚えていましたが、何度もアップダウンがあるのは全く記憶にありません。桜茶屋から摩耶山頂上まで結構足にきました。今回から三脚はやめて自撮り棒にしています。スマホをセットするときに寒さで落っことしてスマホが電池切れ状態になり、以降全く使えなくなりました。三角点の山頂に来る人は山関係の人だけでしょう。観光客は明るい掬星台で神戸の街を見たりするのです。今日はさすがに客はゼロでした。



下りは天上寺跡の史跡公園を通ります。急な石階段が続き、これも疲れます。上野道から青谷道へとだんだん緩やかになり、やがて住宅地。阪急王子公園駅まで1時間余りでした。

## ニクヤノツブヤキ

- ◇ まあのの裏の公園に立派な古木があります。尼崎市に尋ねてみると調べてくれて、神社を整備するとき住民から「残してほしい」との要望を受けたもので、おそらく樹齢数百歳の「ムクノキ」でした。(幸治)
- ◇ このところ革靴を履いています。いつものスニーカーとは違って、コツコツといういい音が路面に響いて、どこかのOLにでもなった気分です。(幸子)